

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床治療論(リハビリテーション)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2F,3F
担 当 教 員	三田 直人 酒井 崇 安丸 直希	実務経験と その関連資格	音楽健康指導士、認知症ケア指導管理士、認知症キャラバンメイト 認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)、失語症者向け意思疎通支援者指導者 理学療法士、健康科学修士、循環認定理学療法士、呼吸認定理学療法士、3学会合 同呼吸療法認定士			
《授業科目における学習内容》						
様々な健康障害・健康段階で行われるリハビリテーション療法について学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100％ 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満 【配点】25点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
Nursing Care Q & A 入院中のリハビリテーション(総合医学社)						
《授業外における学習方法》						
授業内容の復習						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脳血管疾患のある対象のリハビリテーションを理解する			
		各コマに おける 授業予定	1) 筋力・関節可動域評価方法 2) 拘縮予防とポジショニング 3) 日常生活の中で行える筋力維持強化方法			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	嚥下障害、言語障害のある対象のリハビリテーションを理解する			
		各コマに おける 授業予定	1) 嚥下機能の評価と嚥下訓練 2) 失語症患者とのコミュニケーション			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	神経筋疾患、運動器疾患のある対象へのリハビリテーションを理解する			
		各コマに おける 授業予定	1) パーキンソン病のリハビリテーションと日常生活動作の留意点 2) 人工骨頭置換術、人工股関節置換術後、人工膝関節置換術 後のリハビリと、日常生活動作の留意点			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	慢性呼吸不全のある対象の呼吸リハビリテーションを理解する			
		各コマに おける 授業予定	1) 呼吸リハビリテーション 2) スクイー징・体位ドレナージ			
第 5 回		授業を 通じての 到達目標				
		各コマに おける 授業予定				